

令和6年度第4回  
聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議資料

# 基本目標1:しごとづくり

～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～

## - 施策一覧 -

聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議事務局

# 施策一覧【基本目標1:しごとづくり】

## 【第2期】

### 施策① 地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備

- 1 ふるさと納税制度を活用した地場産品の魅力発信
- 2 生産者に対する「チャレンジ育成型」の取組
- 3 新規就農者確保対策事業
- 4 ほ場整備を契機とした新たな営農体系構築

### 施策② 地域資源を活かした広域連携による観光振興

- 1 レジャー、スポーツを通じた地域振興
- 2 交流人口拡大のための広域的観光周遊ルートの整備

### 施策③ 新潟東港を核とした経済振興

- 1 新潟東港工業地帯における立地企業の規模拡大・未操業地への企業進出の促進

## 【第3期(案)】

### 施策① 地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備

- 継続 1 ふるさと納税制度を活用した地場産品の魅力発信
- 継続 2 生産者に対する「チャレンジ育成型」の取組
- 継続 3 新規就農者確保対策事業
- 継続 4 ほ場整備を契機とした新たな営農体系構築

### 施策② 地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化

- 継続 1 マリンレジャー、マリンスポーツを通じた地域振興
- 継続 2 交流人口拡大のための広域的な観光周遊ルートの整備
- 新規 3 アルビレッジを拠点とした地域活性化の推進  
 ✓ アルビレッジを拠点に官民連携で地域活性化事業を実施

### 施策③ 新潟東港を核とした経済振興

- 継続 1 新潟東港工業地帯における立地企業の設備投資・未操業地への進出の促進

### 施策④ 事業創造の促進

- 新規 1 地域の支援機関と連携した創業促進  
 ✓ 関係機関と連携した創業支援  
 ✓ 国事業の活用による支援強化(税軽減、補助金拡大など)

# 事業シート【基本目標1:しごとづくり】

継 続

事業番号	1-①-1	担当課	総合政策課
基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備		
事業名	ふるさと納税制度を活用した地場産品の魅力発信		
具体的事業内容	ふるさと納税寄附金の増額に向けた地場産品PRや広告宣伝、返礼品の増加など		

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年ふるさと納税市場は拡大傾向であるが、返礼品や経費率に係るルールの厳格化などの制度改革による影響もあり、今後その伸びは鈍化する見込みである。</li> <li>・それに伴い、自治体間での返礼品競争はさらに激化していくことが予想される。</li> </ul>
----------	---

戦略内容 (戦略記載文)	<p>ふるさと納税制度を活用し、町の地場産品を返礼品とすることで、町外にその魅力をPRするとともに、個人と地域の連携を強化し、販路拡大につなげます。</p> <p>併せて、中間事業者との連携により、魅力ある返礼品の開発及び経費の縮減に取り組み、さらなる寄附拡大を目指します。</p>
-----------------	---

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
ふるさと納税寄附額	3億5千万円 (2023)	4億6千万円	年度決算額

継 続

事業番号	1-①-2	担当課	産業観光課
基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備		
事業名	生産者に対する「チャレンジ育成型」の取組		
具体的事業内容	農産物の販路拡大やブランド化に取り組む生産者への活動支援		

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当町で産地化が進んでいるさくらんぼやぶどうなどは観光農園が経営され、栽培方法も個々に確立されており、町のブランドとして品質規格の統一化は難しい。</li> <li>・意欲的に販路拡大等に取り組む生産者へ個々に活動支援するとともに、現在まで実施された販路拡大のためのノウハウ等を広く共有することにより、最終的な帰結として産地化を目指すべき。</li> </ul>
----------	--

戦略内容 (戦略記載文)	<p>販路拡大のため新たな発想に基づく取り組みや、新規に就農を目指す若手生産者の支援を通じて産地化を図ります。</p> <p>併せて、事業の効果検証を通じて販路拡大のために共有できる内容や手法を検討し、担い手などに広く展開します。</p>
-----------------	---

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
販路拡大に取り組む生産者支援件数	12件 (2018～2023)	24件 (2025～2030)	2030年度までの累計支援件数とする。複数年支援の場合は複数回カウント(例:3年間事業→カウント3)

# 事業シート【基本目標1:しごとづくり】

継 続

事業番号	1-①-3	担当課	産業観光課
基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備		
事業名	新規就農者確保対策事業		
具体的事業内容	国の新規就農者育成総合対策を活用し、町で認定する新規就農者に対し支援		

戦略策定時の課題	・聖籠町における営農の持続性のため、引き続き、担い手確保のため、国の制度を活用して青年農業者の就農を図っていくことが重要である。
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	新規就農者の確保と育成対策を推進します。
-------------	----------------------

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
新規就農者の認定件数	7人 (2018～2023)	8人 (2025～2030)	町から青年等就農計画の認定を受け認定新規就農者となった者の人数(6年間の累計)

継 続

事業番号	1-①-4	担当課	産業観光課
基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備		
事業名	ほ場整備を契機とした新たな営農体系構築		
具体的事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほ場整備事業の実施</li> <li>・担い手への農地集積の推進</li> <li>・水稻以外の園芸導入の促進</li> </ul>		

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業の省力化、効率化を図り、将来的にスマート農業の導入につなげるための基盤づくりとして、農地の大規模化や区画整理等を行う「ほ場整備事業」を町内6地区で進めている。</li> <li>・農地の担い手は減少傾向にある中、整備される農地を将来的に誰が担うのかを定め、農地を担い手へ集積・集約していくことが求められている。</li> <li>・また、水稻のみでは農家所得を確保することが難しい状況であり、売れる作物づくりとして、高収益が見込める園芸作物への転換も必要となっている。</li> </ul>
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	将来的にスマート農業を導入する上で必要不可欠な「ほ場整備事業」を計画的に実施するとともに、各地区において農地と担い手のあり方を協議により決定し、担い手の組織化や農地集積・集約による経営規模の拡大を推進します。 併せて、ほ場整備計画地区において園芸作物の試験栽培等を支援することで、水稻から高収益が見込める園芸作物への転換を促進します。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
担い手集積率	71.5% (2023)	90%	認定農業者・認定新規就農者が町内で耕作する面積/町の全農地面積

# 事業シート【基本目標1:しごとづくり】

継 続

事業番号	1-②-1	担当課	産業観光課
基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化		
事業名	マリンレジャー、マリンスポーツを通じた地域振興		
具体的事業内容	マリンレジャー・マリンスポーツイベントを開催し、海などの地域資源の魅力をも町内外に発信し、交流人口の拡大を図る。		

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町はセーリングやサーフィンの地として定評があるが、関係団体との連携による地域活性化の実現までは十分には実現できていない。</li> <li>・聖籠の海の魅力を町内外に発信することの意義はあるが、PR不足であり、交流人口増加につながっていない。</li> </ul>
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	聖籠町サーフィン大会実行委員会等の関係団体との連携により、海のレジャーの周知活動を行います。併せて、イベントの追加実施や海のにぎわい館の活用等を通じて、PR活動の強化に取り組みます。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
海のレジャーイベント参加者数	717人 (2023)	1,100人	マリンイベント参加者数の人数

継 続

事業番号	1-②-2	担当課	産業観光課
基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化		
事業名	交流人口拡大のための広域的な観光周遊ルートの整備		
具体的事業内容	広域圏での観光周遊ルート整備、海外や首都圏に向けた観光PR		

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生の主要事業としてインバウンドをはじめとする観光事業がとりざたされているものの、町には観光産業が分厚く形成されておらず、町の主な観光資源はさくらんぼ・ぶどうの観光農園など季節的である。</li> <li>・通年で誘客できたゴルフ場も令和7年3月末で閉鎖される予定であり、広域で連携した誘客の重要性がさらに増している。</li> </ul>
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	広域エリアで作成した広域観光周遊ルート活用し、首都圏に向けた広域連携によるPRを強化するとともに、町の観光資源である観光ぶどう園や夏まつり等のイベントをPRし、季節的な観光資源を有効的に活用します。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
聖籠町への観光入込客数	47,000人 (2023)	50,000人	新潟県観光入込客統計調査 ※調査対象:非日常利用、一定以上の観光客数等の条件を満たす観光地点、行祭事・イベント

# 事業シート【基本目標1:しごとづくり】

## 新規

事業番号	1-②-3	担当課	総合政策課
基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化		
事業名	アルビレッジを拠点とした地域活性化の推進		
具体的事業内容	官民連携によるアルビレッジを拠点とした地域活性化事業の実施 (企業版ふるさと納税を財源に、アルビレッジを拠点としたハード・ソフト事業を実施)		

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の主な観光資源はさくらんぼ・ぶどうの観光農園やマリレジャーなどで、季節限定的であるとともに、それらの観光入込客数も減少が進んでいる。</li> <li>・アルビレッジは民間事業者が運営しており、大会利用やプロ選手との交流の場として機能していたが、町との連携や、町民とのつながりは弱い状況であった。</li> </ul>
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	スポーツを通じた聖籠町民の暮らしの向上、交流人口・関係人口の拡大を目指して、アルビレックス新潟等との官民連携により、アルビレッジを拠点とした地域活性化プロジェクトを推進します。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
アルビレッジ来訪者数(年度延べ人数)	166,419人(2023)	(検討中)	NPO法人新潟スポーツコミュニティ(アルビレッジ運営団体)調べ

## 継続

事業番号	1-③-1	担当課	東港振興室
基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	新潟東港を核とした経済振興		
事業名	新潟東港工業地帯における立地企業の設備投資・未操業地への進出の促進		
具体的事業内容	企業立地奨励制度の実施 <b>【制度概要】</b> ・対象設備投資に係る固定資産税相当額を1年間交付(上限1億円) ・対象新規常用雇用者1人につき50万円を3年間分割交付(上限なし)		

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東港工業地帯の分譲用地はすでに完売しており、新たな企業進出が見込みづらい状況にある。</li> <li>・一方で、企業が用地を取得したものの工場等の建設がなされていない場所がある。</li> </ul>
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	企業立地奨励制度(東港立地企業などの設備投資や新規雇用に対する奨励金)を広く周知し、立地企業の設備投資や未操業地への進出を促進します。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
立地企業の設備投資又は未操業地への進出の件数	46件(2018～2023)	48件(2025～2030)	奨励金の申請や事前相談等により把握できた設備投資又は未操業地への進出(用地の分筆等による新規立地を含む)の件数(6年間の累計)

# 事業シート【基本目標1:しごとづくり】

新規

事業番号	1-④-1	担当課	産業観光課
基本目標	しごとづくり ～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	事業創造の促進		
事業名	地域の支援機関と連携した創業促進		
具体的事業内容	「創業支援等事業計画」を策定し、創業から経営が軌道に乗るまでの各種フォローアップなど継続的な支援を関係機関と連携しながら実施		

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の創業者数は低迷しており、町民アンケート結果では「暮らしている地域では、挑戦・成長の機会があるか」に対して満足度が低い。</li> <li>・商工会からの要望も踏まえ、創業への潜在的関心者の掘り起こし等、地域経済の活性化に向けた効果的な創業支援に取り組む必要がある。</li> </ul>
----------	--

戦略内容 (戦略記載文)	「創業支援等事業計画」を策定することにより、創業に必要な知識の習得や登録免許税の軽減措置、補助金の上限額引き上げ等、創業者が種々のメリットを受けられるような環境を関係機関との連携により整備し、創業者の増加を図ります。
-----------------	--

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
特定創業支援等事業の活用事業者数	— ※新規事業のため	24件 (2025～2030)	「創業支援等事業計画」による特定創業支援等事業を活用した事業者数(6年間の累計)